

第1考査 日本史B 問題

I、次の文を読み、下の問に答えよ。

人類がはじめて地球上に生まれたのは、新生代< A >世のことです。その後、猿人、原人、< B >人という段階をへて、現在の人類(新人)が生まれました。沖縄県の(a)遺跡から、この時期のほぼ完全な化石人骨が発見されています。

人類が道具を用いた最初の段階を①旧石器時代と呼びます。日本におけるこの時代の存在は、敗戦直後、(b)関東地方の遺跡からこの時期の石器が発見されたことで確認されました。

②日本で土器がつけられたのは、いまからおよそ1万年前です。この時代の遺跡からは、釣り針やモリなどの骨角器、③石器の矢じり、人をかたどった< C >などが出土しています。

およそ2300年前、中国や朝鮮から④米作りや⑤青銅器など金属器の加工技術をもった人々が日本に渡ってきました。米作りは急速に広がり、人々は、力を合わせて米作りをするようになり、ムラをつくるようになりました。やがてムラは、クニと呼ばれる大きなまとまりになっていきました。⑥最初、人々は共同墓に埋められていましたが、いくつかの棺のなかだけ鏡などの副葬品がはいるようになり、さらに特定の墓だけが大きくなって、別の場所につくられるようになっていきました。さらに(c)当時の遺跡からは、⑦戦争があったことを示す人骨も出ています。

(d)紀元前1世紀ごろの中国の書物には、当時倭とよばれた日本は、100あまりのクニに分かれていたことが記され、他の書物には、1世紀、北九州にあった小国の王が⑧金印をもらったことが記されています。さらに(i)3世紀の歴史書には、女王< D >が治める⑨邪馬台国というクニがあったことが記されています。

3世紀後半になると、クニの王たちは⑩古墳と呼ばれる大きな墓に葬られるようになってきました。クニどうしの戦いがつづくなか、今の奈良県や大阪府東部を中心とするヤマト政権は、⑪各地の王をしたがえ、⑫全国に勢力を伸ばし、さらに< E >半島へも進出したことが好太王碑から見ることができます。

<設問>

問1、文中の< A >～< E >に入れるべき適語を漢字で記しなさい。

問2、文中の(1)～()を示す遺跡の名を選び、記号でこたえなさい。

(ア)三内丸山遺跡 (イ)登呂遺跡 (ウ)吉野ヶ里遺跡 (エ)港川遺跡 (オ)大仙陵(仁徳天皇陵)遺跡

問3、文中の(a)(b)にあたる書物の名をそれぞれ選び、記号で記しなさい

(カ)隋書倭国伝 (キ)漢書地理志 (ク)魏志倭人伝 (ケ)後漢書東夷伝

問4、下線部①～⑫について、以下の問に答えなさい。

①旧石器時代の始まったころ、地球環境はどのように変化していましたか。簡潔に示しなさい。

②下線部②の時期の土器をなんといひますか。解答欄の指示に従って漢字を2字で記しなさい。

③この時代に使われた石器は、日本で数カ所しかとることができない黒曜石などが全国各地の遺跡から発見されています。このことからどのようなことがわかりますか。

④米づくりにかかわって記した以下の文で、誤りを含むものを1つ選び、記号で記せ。

(ア)当初、水稻耕作は、低湿地を使った湿田をもちいたものが中心である。

(イ)この時代は木製の農具を用いて耕作し、実った米を石包丁で収穫した。

(ウ)米作りは、北九州から近畿地方をへて広がり、3世紀には沖縄や東北南部でも行われた。

(エ)収穫された米はネズミや虫の害を避けるため、湿度から守るため高床式倉庫などに保存された。

⑤青銅器について記した以下の文で、誤りをふくむものを1つ選び記号で記せ。

(ア)青銅器は銅とスズの合金であり、元々の色は青緑色である。

(イ)北九州地方では銅矛や銅戈などが多く出土されている。

(ウ)青銅器の一つ銅鐸は祭に用いられる楽器を元に発展したものといわれている。

(エ)出雲(島根県)の荒神谷遺跡からは300本を超える大量の銅剣が発見され、話題となった。

- ⑥下線部⑥のようなできごとから、どのようなことがわかりますか。解答欄の指示に従って簡潔に記しなさい。
- ⑦戦争があったことを示す人骨とは、どのような人骨ですか。例を一つあげなさい。
- ⑧この金印は、江戸時代福岡県志賀島で発見されたものだと考えられています。この金印に刻まれた文字を現在の漢字五字で記しなさい。
- ⑨邪馬台国について記した以下の文について、誤りをふくむものを1つ選び、記号で記せ。

- (ア)邪馬台国は九州北部にあった国である。
- (イ)邪馬台国の人々は、顔や全身に入れ墨を入れていた。
- (ウ)邪馬台国の女王は魏に使者を送り、親魏倭王の称号を得た。
- (エ)邪馬台国の女王の死に際し、巨大な墓がつくられ、多くの奴隷も殉死させられたと記されている。
- (オ)女王の死後、混乱の中で邪馬台国は滅亡したと記されている。

- ⑩(1)古墳について正しく記したものを2つ記しなさい。
- (ア)古墳のまわりには円筒形や動物・人物などをかたどった陶器の埴輪が並べられていた。
- (イ)初期は鏡や玉といった呪術的な副葬品が多かったが、中期には武具や馬具などが多くなった。
- (ウ)古墳は、当時から緑の木々でおおわれ、その森は神々の森として畏れられた。
- (エ)古墳は、後になればなるほど巨大化していった。仁徳天皇陵として知られる大仙陵古墳は後期の代表的な古墳である。
- (オ)当初、人々は横穴式石室に葬られたが、後期古墳では家族墓の性格の強まりから竪穴式石室は多くなった。
- (2)日本で最も一般的に見られる前方後円墳について、上から見た形を図示せよ。
- ⑪こうした過程で、大王は服従してきた豪族(王)たちに「臣」「連」といった称号を与えた。このような称号をなんというか。漢字一字でこたえなさい。
- ⑫この様子をうかがえる手紙が中国の歴史書に残されています。この手紙の名を言いなさい。

II、次のA～Dの文を読み、下の問に答えよ。

A:6世紀末～7世紀前半の政治家である[1]は、用明天皇の没後、①対立する物部氏を倒し、592年には崇峻天皇を暗殺して[2]天皇を擁立し、厩戸皇子とともに天皇を中心とした国家をめざす②改革を進めた。また、③小野妹子を中国に派遣した。

B:舒明天皇と皇極天皇の間に生まれた④[3]皇子は、645年に中臣鎌足らとともに蘇我氏を倒し、自らは皇太子として⑤改革に着手した。しかし、⑥663年百濟救援のために派遣した軍が大敗、対外的な緊張が高まった。こうしたなか、皇子は、667年都を[4]宮に移し、翌年正式に天皇に即位した。

この天皇が、671年死亡すると、その直後に[5]の乱が発生、勝利した[6]皇子が天皇に即位した。この天皇とそのあとを継いだ[7]天皇のもとで、⑦古代天皇制は最盛期をおかえ、つぎつぎと改革が実行された

C:710年、元明天皇は都を[8]京に移した。この時代は、⑧都を中心にかつてないほどの華やかな文化が栄えた。とくに⑨仏教は国家の保護を受け、国家仏教として発展した。中国への[9]の定期的な派遣を背景に、[10]が戒律を伝えるために来日するなど、⑩国際色の豊かな文化が発展した。

<問1> 空欄[]に適する語を選び、記号で答えよ。

- (ア)行基
- (イ)鑑真
- (ウ)持統
- (エ)天智
- (オ)壬申
- (カ)平城
- (キ)推古
- (ク)天武
- (ケ)中大兄
- (コ)大海人
- (サ)白村江
- (シ)蘇我入鹿
- (ス)蘇我馬子
- (セ)近江大津
- (ソ)難波
- (タ)飛鳥浄御原

<問2> A・B(半に後半)・C、それぞれの時代の文化について以下の問に答えよ。

(1) B・Cの時代の文化をそれぞれどのようによぶか。解答欄の指示に従い、それぞれ漢字二字で記せ。

(2)以下の説明文を、A・B・Cのいずれかに分類せよ。

(ア)豪族たちが氏族の繁栄や先祖の冥福を祈って建てた氏寺がつくられた。

(イ)塑像や乾漆像など様々な技法を用い、写実的で美と力に満ちた仏像が多くつくられた。

(ウ)律令国家が成立するなかで、国家が経営する官寺がつくれ、力強い金銅仏が多く見られるようになった。

(3)次の写真の彫刻をA・B・Cのいずれかに分類せよ。



(ア)



(イ)



(ウ)

<問3> 下線部について以下の問に答えよ。

①両者の対立は外来文化の受け入れをめぐる対立でもあった。その文化とは何か、漢字二字で記せ。

②役人の心構えなどを記した十七条の憲法の第一条を記した以下の文の空欄に漢字を一字を入れよ。

く >をもって貴しとなす。

③このとき、送られた書簡について、空欄に入れるべき漢字をそれぞれ一字ずつ記せ。同じ番号は同じ漢字を示す。

く 1 > く 2 > づる処の天子、書をく 1 > く 3 > する処の天子にいたす。つつがなきや。

④この「クーデタ」を何というか、記号で答えよ。

(ア)壬申の乱 (イ)応仁の乱 (ウ)甲申事変 (エ)乙巳の変 (オ)文祿の役

⑤以下の史料は、この改革に際し出された、「改新の詔」の第一条である。

昔在の天皇等の立てたまへる[1]の民、処々の屯倉、及び、別には臣・連・伴造・[2]・村首の所有る部曲の民、処々の[3]を罷めよ。

<語群> (ア)子代 (イ)国造 (ウ)部曲

(1)文中の空欄[]に入れるべき適語を語群より選び、記号で記せ。

(2)文中の下線の文字(屯倉)の読みがなを記せ。

⑥この戦いの名を記せ。

⑦この時期、「天皇」の支配を正当化するために歴史書の編纂が開始された。奈良時代に完成することになる歴史書の名前を1つ漢字で記せ。

⑧この時代にまとめられた庶民から天皇までがよんだ和歌をあつめ、独特の漢字で記した歌集の名を記せ。

⑨(1)仏教の法力によって国家安泰を図るという思想を何というか。

(2)こうした目的で、国家が行った大事業の例を一つあげよ。

⑩この時代の国際性を示す遺物が多数残されている聖武天皇の遺品を集めた倉庫の名を記せ。

Ⅲ、次の文を読み、下の問に答えよ。

701(大宝元)年、《A》が完成し、律令制度による政治のしくみが整った。中央には、二官八省一台五衛府とよばれる政府機関が置かれ、[1]の首脳である左大臣・右大臣などが中心となって政治を運営していた。①地方には、現在の都道府県に当たる国がおかれ、中央から官人たちが《B》として派遣された。国の下には、郡・里がおかれ、かつての[2]ら地方豪族や有力農民が郡司・里長として任命された。

官人は、②位階をあたえられ、それに応じた官職に任じられ、位階・官職に応じて給与があたえられた。とくに五位以上の官人は[3]身分を形成、③蔭位の制などで手厚く優遇された。

農民たちは、戸ごとに④戸籍に登録された。戸籍は6年ごとに作成され、戸籍作成時に6歳以上の男女に一定の広さの[4]をあたえ、死後、回収するというしくみがつくられた。このしくみを背景に、政府は農民たちに、租、(a)調・庸、(b)雑徭、さらに運脚や(c)公出拳といった⑤負担を課した。さらに、一定の割合で兵士として徴発される⑥兵役もあった。

このような重い負担、虫害などで飢饉のなか、農民たちは自らの土地をすてる[5]などが相次いだ。こうしたなか、723年、政府は「農民が独自につくった田は、しばらく自分のものとして良い」という法をだし、さらに743年の《C》法では「ずっと自分のものにしてよい」ということにされた。これをうけ、上流貴族や大寺院などは開墾をすすめ、[6]と呼ばれる土地が開かれた。

<設問>

問1 文中の《 》に入れるべき適語を記せ。

問2 文中の[]に入れるべき適語を選び、記号で記せ。

(ア)太政官 (イ)神祇官 (ウ)貴族 (エ)豪族 (オ)国造 (カ)口分田 (キ)墾田 (ク)初期荘園 (ケ)浮浪 (コ)一揆
(サ)寄進地系荘園

問3 文中の下線部(a)～(c)を説明した文を下から選び、それぞれ記号で記せ。

{(ア)政府に納める税を都まで運ぶ義務。成年男子に課せられた。

{(イ)国家が春に稲を貸し付け、秋の収穫時に高い利息とともに徴収する制度。しだいに税と同様のものとなっていった。

{(ウ)絹・布・糸や各地の特産物を中央政府におさめるもの。

{(エ)田地などの収穫から3%程度の稲をおさめるもので、おもに諸国において貯蔵された。

{(オ)国司の命令によって年60日を限度に使役されること。国内の水利土木工事や国衙の雑用などに奉仕した。

問4 文中の下線部①から⑥にかかわる下記の設問に答えよ。

①律令制の地方官司で、「遠の朝廷」ともよばれ、九州の行政や外交・海辺防備を任務とした役所の名を記せ。

②このようなルールをどのようにいうのか、解答欄の指示に従って記せ。

③蔭位の制について、解答欄の指示に従って簡潔に説明せよ。

④重い負担に耐えかねた農民たちは、どのような行動に出たのか、記せ。

⑤戸籍にかかわって、日本でつくられた最古の戸籍の名を記せ。

⑥兵役を課された兵士で、九州防衛のためおかれた兵士をなんといい、ひらがな4字で記せ。

<ボーナス問題>Ⅳ、(1)～(2)のa～eの時代を古い順に並べた場合、a～eの記号はどのようなになるか。

下の組み合わせ例から選び、その記号を解答欄に記せ。

(1) a 室町、b 安土桃山、c 江戸、d 飛鳥、e 鎌倉 (2) a 戦国、b 南北朝、c 鎌倉、d 江戸、e 安土桃山

(ア)abcde (イ)adcbe (ウ)aebdc (エ)baedc (オ)bcdea (カ)bedac (キ)caedb (ク)cbaed (ケ)cdbae (コ)dabce
(サ)dceab (シ)deabc (ス)eadbc (セ)ecbda (ソ)edcba

V、次の文はいつの時代を説明したものか、時代名を漢字で記せ。

(1)元寇とよばれた蒙古襲来以降は幕府への反感が高まりました。

(2)バブル景気が崩壊をきっかけに、長期にわたる不況を迎えました。

(3)織田信長が現れ天下統一をめざしますが、明智光秀の謀反により自害します。